



2019年9月13日

各 位

会 社 名 CYBERDYNE株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山海 嘉之
(コード番号 7779 東証マザーズ)

問 合 せ 先 取締役コーポレート 宇賀 伸二
部 門 責 任 者
(電話 029-869-9981)

株式会社Integral Geometry Science との業務・資本提携に関するお知らせ ～ 乳がん検診を革新する世界初の画像化技術と革新的サイバニクス技術のコラボ ～

CYBERDYNE 株式会社(茨城県つくば市、代表取締役社長 山海嘉之、以下 当社)は、乳がん検診を革新する世界初の画像化システム、マイクロ波マンモグラフィを研究開発する株式会社Integral Geometry Science (兵庫県神戸市、代表取締役：木村憲明、以下 IGS 社)と、業務提携及び資本提携(当社からIGS社への資本出資)を行いましたので、お知らせいたします。

また、同時に、当社の子会社であるCEJ キャピタル株式会社が運用するサイバニクス・エクセレンス・ジャパン1号投資事業有限責任組合(以下 CEJ ファンド)からもIGS社に対して出資を行っております。

当社グループは、IoH(Internet of Humans)/IoT、ロボット、AIによるサイバニクス技術で医療、福祉、生活・職場、生産を繋ぎ、社会が直面する課題解決を実現するサイバニクス産業の創出を事業としており、HALをはじめとするサイバニックデバイス・サイバニックインターフェースの開発と、IoH/IoTビッグデータ(脳神経系、生理系、身体系、行動系、生活系、環境系)の集積・解析・AI処理等を推進しています。IGS社は、神戸大学発ベンチャーとして、マイクロ波など波動の観測結果から未知の物体の形状を画像データとして再構成する技術に強みを持っており、同社のマイクロ波マンモグラフィのプロトタイプ機を用いた臨床研究においては、高濃度乳房を含む全てのタイプの乳房で高い乳がん検出感度を有することが示され、女性の負担が少なく被曝しない新技術として注目されています。

両社は、それぞれが保有する世界最先端の革新技術を複合融合することにより、サイバニクス産業の創出に向けて、医療、セキュリティ、インフラ管理などの領域で新事業を開拓することを目指し、今回の提携が実現しました。

<株式会社Integral Geometry Science について>

散乱した波動から散乱体の構造を決定する問題は、応用数学上の未解決問題「散乱の逆問題」と呼ばれてきました。木村建次郎博士および木村憲明博士(株式会社Integral Geometry Science 代表取締役)は、散乱の逆問題を解析的に解くことに世界で初めて成功し、日米欧中9か国で「散乱の逆問題の解法と画像化」の特許を取得。この研究成果を社会実装するため、2012年に株式会社Integral Geometry Science を設立しました。同社は神戸・ポートアイランドの神戸大学インキュベーションセンターに研究開発拠点を置いており、インフラ構造物の劣化を検知する非接触インフラ検査装置、リチウムイオン電池内部の異常電流を検知する電流経路映像化装置などを実用化しています。

<CYBERDYNE 株式会社について>

当社グループでは、人とテクノロジーが共生し相互に支え合うテクノ・ピアサポートを軸とした未来社会「Society5.0/5.1」の実現、社会変革・産業変革の実現を目指し、『人』+『サイバー・フィジカル空間』を扱う「サイバニクス技術」(人・ロボット・情報系の融合複合技術)を駆使して、「ロボット産業」「IT 産業」に続く「サイバニクス産業」の創出を推進しています。

当社の先端技術の独自性と優位性は、医療、福祉、生活・職場、生産の分野において、IoT/IoT 化(ヒトとモノのインターネット)、ロボット化、AI 化された HAL に代表されるサイバニックシステムをプラットフォーム化し、脳神経系・生理系から行動・生活系に至る様々なビッグデータをクラウドやスパコンとつなぎ、『人』+『サイバー・フィジカル空間』を融合していく点にあります。当社のデバイスやインターフェースで得られた全ての IoT/IoT ビッグデータ (脳神経系、生理系、身体系、行動系、生活系、環境系)の集積・解析・AI 処理等を実現してまいります。また、『サイバニクス産業』の創出を加速させるため、様々な事業連携も同時並行で進めています。 詳細は、<https://www.cyberdyne.jp> をご覧ください。

以 上